



医療と仏教・看護と仏教 2つの視点から「寄り添い」について考える 本学独自の授業「仏教看護論」

京都光華女子大学（学長：一郷 正道）健康科学部看護学科では、仏教精神に基づく看護教育を通して、知識・技術に加え、患者さん一人ひとりに寄り添うことのできるおもいやりの心をもった看護職を養成しています。

このたび、本学看護学科 4 年生の必修科目である「仏教看護論Ⅱ（担当教員：小澤 千晶 准教授）」において、10 月 13 日（土）は医学と仏教の視点を持つ岸上 仁 先生（医師であり僧侶）を、10 月 27 日（土）は看護と仏教の視点を持つ中島 小乃美 先生（佛教大学准教授）を講師としてお招きし、「寄り添う」とはどういうことなのか、講義とアクティブラーニングを通して学びます。

本科目は自らの看護実践を仏教の視点から整理することを主眼としています。3 年次に学生自身が経験した病院での臨地実習を単に振り返るのではなく、仏教の視点を持って見直すことで、人間の生老病死の実際についてより深く学び、将来、看護職として様々な価値観を持った人々を支援できる力を養います。

少子高齢化、グローバル化、AI の台頭など社会の様相が大きく変わる中で、人々の価値観も多様化してきています。一人ひとりに寄り添った看護をするために、「寄り添い」について自身の経験から実感を持って考え、学ぶ本講義は非常に貴重な機会であると考えています。

報道各社におかれましては、ぜひ、広くご案内・取材いただきますようお願い申し上げます。

記

■ 講演会概要 ■

- 【日 時】①10 月 13 日（土）10：30～16：00（本学 2～4 講時）
②10 月 27 日（土）10：30～16：00（本学 2～4 講時）
- 【講 師】①岸上 仁 先生（神経内科専門医・真宗大谷派受念寺副住職）
②中島 小乃美 先生（佛教大学看護学科准教授・看護師・仏教学研究科）
- 【講 題】「寄り添う」とはー 医療と仏教・看護と仏教の視点から ー
- 【場 所】本学 1 号館 4 階 特 4 教室
- 【参 加 者】本学看護学科 4 年生 86 名

「取材に関するお問い合わせ」

京都光華女子大学／短期大学部 入学・広報センター 担当：橋詰

[TEL] 075-325-5221 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp